

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成25年6月25日)

項目	ページ
1 平成26年3月新規学校卒業予定者の求人要請について 【雇用人材総室（就業支援室）】……………1	
2 緊急雇用創出事業の平成25年度の追加執行状況について（6／1.0現在） 【雇用人材総室（就業支援室）】……………2	
3 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について 【立地戦略課・経済産業総室（産業振興室）・雇用人材総室（就業支援室）・西部総合事務所地域振興局】……………6	
4 イオン茨木ショッピングセンター鳥取フェアの開催について 【市場開拓課】……………10	

商 工 労 働 部

# 平成26年3月新規学校卒業予定者の求人要請について

平成25年6月25日  
雇用人材総室  
就業支援室

平成25年3月新規高等学校卒業者の就職内定率は98.3%と前年同期を0.2ポイント下回ったものの、2年連続98%台の就職内定率を確保できました。

しかしながら、平成26年3月の卒業予定者については、県内外の企業の事業再編等の影響を受け、昨年同様厳しい求人状況になることが予想されます。

については、来春の新規学校卒業予定者に対する県内求人確保のため、下記のとおり経済団体と企業に対して、国、県及び県教育委員会の共同により求人要請を行います。

## 記

### 1 経済団体への求人要請

○期日 平成25年6月27日(木)

- (1) 要請者 平井 伸治 鳥取県知事  
矢澤 由宗 鳥取労働局長  
横濱 純一 鳥取県教育委員会教育長  
小林 直樹 鳥取県商工労働部雇用人材総室長  
宮地 壽 中国経済産業局次長

(2) 要請先

団体名	対応者(予定)
鳥取県商工会議所連合会	会長 清水 昭允 氏
鳥取県中小企業団体中央会	会長 常田 禮孝 氏

○期日 平成25年7月3日(水)

- (1) 要請者 矢澤 由宗 鳥取労働局長  
生田 文子 鳥取県教育委員会教育次長  
小林 直樹 鳥取県商工労働部雇用人材総室長  
宮地 壽 中国経済産業局次長

(2) 要請先

団体名	対応者(予定)
鳥取県経営者協会	会長 宮崎 正彦 氏
鳥取県商工会連合会	専務理事 川口 正男 氏

### 2 個別企業への求人要請

- (1) 時期 上記経済団体への求人要請日以降随時  
(2) 要請者 県、県教育委員会、労働局の関係課(室)長等

### 3 高校生就職対策の今後の主な取組について

- (1) 10人規模以上の事業所に対し、高卒対象求人提出の文書要請(7月に送付予定)  
(2) 高校生就職ガイダンス(3年生:7・8月、2年生:12月以降)  
(3) 新規高卒求人事業所説明会(7月31日:鳥取、8月6日:倉吉、8月1日:米子)  
(4) 新規高等学校卒業予定者就職面接会(11月12日:鳥取、13日:倉吉、7日:米子)  
(5) とっとり就職フェア2014・2月(県内3会場で開催予定)

## 緊急雇用創出事業の平成25年度の追加執行状況について(6/10現在)

平成25年6月25日  
雇用人材総室  
就業支援室

緊急雇用創出事業の今年度の県事業予備枠を活用して追加実施することとなった事業の状況については、下記及び別紙のとおりです。

記

単位：千円

事業名	H25 予算額 ①	①のうち 県事業額 ②	②のうち 予備枠 ③	今回報告 ④	予備枠残 額 ③-④
重点分野雇用創出事業	1,342,018	672,018	74,006	33,515	40,491
起業支援型地域雇用創造事業	900,000	600,000	600,000	497,646	102,354
計	2,242,018	1,272,018	674,006	531,161	142,845

※予算額から県事業額を除いた残りは、市町村補助事業として実施するもの

### <参考>

#### ○重点分野雇用創出事業

重点分野（介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用等）の一時的な雇用機会の創出を図る事業。

#### ○起業支援型地域雇用創造事業

緊急雇用創出事業のうち、失業者に対する短期の雇用・就業機会を創出・提供し、又は短期の機会を提供した上で、地域のニーズに応じた人材育成を行う事業であって、地域に根ざした事業の起業等に資する事業を実施することにより、失業者の雇用の継続が期待される事業。

1 平成25年度緊急雇用創出事業予備枠の執行状況（6月10日までに追加決定した事業）

(1) 重点分野雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数(人)	事業費(千円)	左のうち人件費(千円)	事業内容
教育・学術振興課	高等教育機関の国際交流推進事業	2	9,612	7,080	グローバル化が進む中で、県内の大学など高等教育機関においても海外の大学等との交流の推進を図ることが求められており、鳥取環境大学に交流事業に係る連絡調整、資料作成、留学生支援などを行う人材を配置し、グローバル人材の育成を図る。
経済産業総室	医工連携推進事業	1	5,308	3,021	鳥取県内のものでづくり企業が今後更に成長し、新たな産業を醸成していくため、医療機器分野の参入の取組を(公財)鳥取県産業振興機構が行う。
雇用人材総室	鳥取県技術人材バンク整備事業(拡充)	3	18,595	9,896	鳥取県技術人材バンクの機能強化を図るため、新たに大阪、東京に技術コーディネーターを配置し、県内企業が求める技術系人材の確保を強力に支援する。
今回報告分計		6	33,515	19,997	

(2) 起業支援型地域雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数(人)	事業費(千円)	左のうち人件費(千円)	事業内容
広報課	地域資源を生かしたCM・動画ビジネス支援事業	2	9,883	5,563	県内のCM制作会社が行うCM制作業務の顧客を拡大する取組(県外への販路拡大)を支援することで、動画による鳥取県の認知度向上、人や自然など地域資源の活用を図る。
東京本部	打って出るコンテンツビジネス応援事業(販路開拓員)	1	6,900	4,800	県内のポップカルチャー系コンテンツ企業で組織する団体が、県の支援を受けて東京秋葉原に近いうちに設置する予定のビジネス拠点(アンテナショップ)に、東京の企業とのマッチング、首都圏でのマーケティング等を行う要員を雇用・配置させ、県内コンテンツ産業の育成・振興を図る。
西部地域振興局	庁舎活用による障がい者支援事業	1	2,912	1,460	食堂事業及び障がい者による生産品の受託販売を行うNPO法人に対して、広く障がい者の生産品の販売及びPR等の業務を委託し、障がい者支援及び障がい者の理解の促進を行うものとする。
文化政策課	アートを活かしたコミュニティビジネス開発事業	1	5,338	2,838	アートを活かした地域コミュニティ活動に興味のある求職者の採用や、アートの視点を活かしたおみやげの開発・販売、オリジナルのメディア(主に印刷物など)による情報発信など、新たなコミュニティビジネスに着手する。
まんが王国官房	まんが王国とっとりソフトパワー活用事業	4	19,361	9,711	「まんが王国とっとり」と地元食材がコラボしたオリジナルまんがメニューの移動販売や、まんがご当地キャラクター等を活用して販売促進イベントを行い地域の賑わいを創出する。
子育て応援課	森のようちえん事業拡大支援事業	1	3,936	1,968	3歳以上児を対象に森林をフィールドにして特色ある幼児教育・保育を展開する「森のようちえん事業」について、立ち上げの支援・活動の定着を図るため、本事業の委託を行う。

所属名	事業名	雇用創 出人数 (人)	事業費 (千円)	左のうち 人件費 (千円)	事業内容
環境立県推進課	グリーンウェイブ環境教育推進事業	1	6,520	3,260	地球環境問題が深刻化する中、持続可能な社会にしていくために、県民一人ひとりが環境対策や再生可能エネルギーについて考えるための「グリーンウェイブ体験型環境教育プログラム」を作成し、学校、地域での環境学習出前教室で活用する。
西部地域振興局	コミュニティFMと特産品を活用した中心市街地・商店街にぎわい創出事業	2	10,512	5,258	商店街の複合商業施設にコミュニティFM放送局と連携して全国及び県内の特産品(主に食)を扱う店舗を設け、顧客の誘導を図ることで商店街への人の流れをつくり、中心市街地の賑わいを創出するとともに、県外のコミュニティFMとの連携により、県外への県産品のPR、販売に資する。
立地戦略課	小型モビリティ人材育成・開発支援事業	4	33,594	17,525	ベンチャー企業が実施する小型モビリティ(電動バイク)開発・改良に必要な技術を確立し、高度技能を有する人材の養成を行うとともに、地域ニーズにあわせた小型モビリティ開発・改良、及びマーケティング・販路開拓等を委託実施する。
立地戦略課	食品酵素技術を活用した県内商品販路開拓支援事業	1	6,483	3,254	食品酵素技術を活用した県産資源を活用した商品(酵素を活用した地域県産品の魚商品等)の新たな開発及び販路開拓を行い、鳥取県の知名度を上げるための販売促進を図る事業を委託実施する。
立地戦略課	高機能性素材製品販路開拓支援事業	1	6,483	3,254	高機能性素材製品を活用した製品(LED等の性能を引き出す次世代型照明器具(反射板))の販路開拓等を行い、もって鳥取県が推進する次世代デバイス分野での拡大に繋げる事業を委託実施する。
立地戦略課	次世代リサイクル人材確保・育成事業	1	7,849	4,229	2次電池廃材を活用した有用金属等の回収リサイクル産業を推進するために必要な技術を有する人材を確保するため、リサイクル企業に対し高度技術を有する人材確保・育成を委託実施する。
経済産業総室	医薬品候補物質等高機能評価細胞事業化促進事業	1	6,990	3,600	鳥取県発の独自技術を使った「医薬品の候補物質の有効性(薬としての機能)をより正確に判断できる細胞」を製品化するための実証実験を委託実施する。
経済産業総室	医薬品開発のための疾患モデル細胞事業化促進事業	3	20,392	10,692	鳥取県の独自技術を活用した「医薬品開発のための疾患モデル細胞(製薬企業が医薬品開発段階で医薬品候補物質の効果を調べるために使用する各種疾患を再現する細胞)」の事業化を促進するため、技術者育成等業務をバイオベンチャー企業に委託する。
経済産業総室	研究開発資源活用型食品開発促進事業	2	11,853	5,953	はたけしめじ等の県内公設試験研究機関による研究成果を活用した加工食品の事業化を促進し、研究成果の活用による企業収益向上・地域活性化のモデルとなる事業を生み出すために、県内企業に加工食品の開発・機能性調査並びに首都圏・海外等における販路開拓を行う業務を委託する。
雇用人材総室	人材育成型雇用促進事業	60	292,068	146,034	県内の失業者に対し、正規雇用への移行を前提とした人材育成を行う事業を県内企業等へ委託して実施する。
畜産課	鳥取和牛販売対策パワーアップ事業	2	14,553	7,695	鳥取和牛と鳥取和牛オレイン55のブランド化の促進と定着のため、元気な県内流通業者に首都圏や関西圏での販路拡大を図る専任の人員を雇用し、販路拡大を委託する。

所属名	事業名	雇用創 出人数 (人)	事業費 (千円)	左のうち 人件費 (千円)	事業内容
文化財課	地域の伝統芸能調査事業	3	21,256	10,628	地域の特色であり、また地域の人々をつなぐ大事な宝である。地域の伝統芸能の保存伝承を図るため、伝統芸能の詳細及び保護団体の現状や課題などを調査し、将来的にホームページで公開しうるデータベースを作成する。
食のみやこ推進課	県産食材供給システム構築事業	3	10,763	5,933	鳥取県産食材の県内外への円滑な供給を促進するため、県内学校給食等への地元食材提供のためのコーディネートや、県外小売店舗等への県産食材のPR・供給を図る事業を、県下全域の食材を調達・販売する事業者へ委託する。
今回報告分計		94	497,646	253,655	

# 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

## その1

平成25年6月25日

立地戦略課

### 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(6月10日までに追加実施を決定した事業)

54,409千円

### 2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額	雇用創出人数 (延べ)	①月額給料	事業内容
	うち新規雇用 人件費		②雇用期間(予定) ③被雇用者の要件	
小型モビリティ人材育成・開発支援事業	33,594千円 (17,525千円)	4人	① 250千円他 ② H25年6月 ~H26年3月 ③ 技術開発・販売等の経験者等	鳥取県発の小型モビリティ(電動バイク)の活性化・振興を図るため、小型モビリティ開発に係る人材育成・県内・県外への販路開拓・PR、技術開発に資する事業を実施する。
食品酵素技術を活用した県内商品販路開拓支援事業	6,483千円 (3,254千円)	1人	① 221千円 ② H25年7月 ~H26年3月 ③ 営業・販路開拓等の経験者等	食品酵素技術を活用した県産資源を活用した商品(酵素を活用した地域県産品の魚商品等)の新たな開発及び販路開拓を行い、鳥取県の知名度を上げるための販売促進を図る事業を委託実施する。
次世代リサイクル人材確保・育成事業	7,849千円 (4,229千円)	1人	① 289千円 ② H25年7月 ~H26年3月 ③ リサイクル技術等の経験者等	2次電池廃材を活用した有用金属等の回収・リサイクル産業を推進するために必要な技術を有する人材を確保するため、リサイクル企業に対し高度技術を有する人材確保・育成を委託実施する。
高機能性素材製品販路開拓支援事業	6,483千円 (3,254千円)	1人	① 221千円 ② H25年7月 ~H26年3月 ③ 営業・販路開拓の経験者等	高機能性素材製品を活用した製品(LED等の性能を引き出す次世代型照明器具(反射板))の販路開拓等を行い、もって鳥取県が推進する次世代デバイス分野での拡大に繋げる事業を委託実施する。
合計	54,409千円 (28,262千円)	7人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

# 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

## その2

平成25年6月25日  
 経済産業総室  
 産業振興室

### 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(6月10日までに追加実施を決定した事業) 44,543千円

### 2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用 人件費)	雇用創 出人数 (延べ)	①月額給料 ②雇用期間(予定) ③被雇用者の要件	事業内容
医工連携推 進事業	5,308千円 (3,021千円)	1人	① 245千円 ② H25年7月 ～H26年3月 ③医療機器メーカー 等の民間企業勤務経 験のある者	鳥取県内のものづくり企業が今後更に成長 し、新たな産業を醸成していくため、医療機 器分野の参入の取り組みを、(公財)鳥取県産 業振興機構に委託する。 ①薬事法等の業界知識取得セミナーの開催 ②医療機関等のニーズと県内企業のシーズの マッチング支援 ③国内先進地調査 等
医薬品候補 物質等高機 能評価細胞 事業化促進 事業	6,990千円 (3,600千円)	1人	① 250千円 ② H25年4月 ～H26年3月 ③細胞生物学等に関 する専門知識と研究 経験のある者	鳥取県発の独自技術を使った「医薬品の候 補物質の有効性(薬としての機能)をより正 確に判断できる細胞」を製品化するための実 証実験を鳥大発バイオベンチャー企業へ委託 する。
医薬品開発 のための疾 患モデル細 胞事業化促 進事業	20,392千円 (10,692千円)	3人	① 245千円 ② H25年4月 ～H26年3月 ③細胞作製・染色体 解析等に関する専門 知識と研究経験のあ る者	鳥取県発の独自技術を活用した「医薬品開 発のための疾患モデル細胞(製薬企業が医薬 品開発段階で医薬品候補物質の効果を調べる ために使用する各種疾患を再現する細胞)」の 事業化を促進するため、技術者育成等業務を 鳥大発バイオベンチャー企業に委託する。
研究開発資 源活用型食 品開発促進 事業	11,853千円 (5,953千円)	2人	① 200千円 ② H25年4月 ～H26年3月 ③食品開発、販路開 拓に関する知識と経 験のある者	はたけしめじ(栽培方法特許を県ときのコ ンセンターが保有)等の県内公設試験研究機関 による研究成果を活用した加工食品の事業化 を促進し、研究成果の活用による企業収益向 上・地域活性化のモデルとなる事業を生み出 すために、県内企業に加工食品の開発・機能 性調査並びに首都圏・海外等における販路開 拓を行う業務を委託する。
合 計	44,543千円 (23,266千円)	7人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。



# 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

## その3

平成25年6月25日

雇用人材総室

就業支援室

### 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(6月10日までに追加実施を決定した事業) 310,663千円

### 2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用人件費)	雇用創出人数 (延べ)	①月額給料	事業内容
			②雇用期間(予定)	
			③被雇用者の要件	
鳥取県技術人材バンク整備事業(拡充)	18,595千円 (9,896千円)	3人	① 302千円 ② H25年7月 ~H26年3月 ③ 専門的技術的人材の能力評価に携わった経験を有する者	鳥取県技術人材バンクの機能強化を図るため、新たに大阪、東京に技術コーディネーターを配置し、県内企業が求める技術系人材の確保を強力に支援する。
人材育成型雇用促進事業	292,068千円 (146,034千円)	60人	① 250千円(上限) ② H25年6月 ~H26年3月 ③ 委託先企業の事業内容に応じて設定	県内の失業者に対し、正規雇用への移行を前提とした人材育成を行う事業を県内企業等へ委託して実施する。
合計	310,663千円 (155,930千円)	63人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

# 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

## その4

平成25年6月25日

西部総合事務所地域振興局

### 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(6月10日までに追加実施を決定した事業)

13,424千円

### 2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用 人件費)	雇用創 出人数 (延べ)	①月額給料	事業内容
			②雇用期間(予定)	
コミュニ ティFMと特 産品を活用 した中心市 街地・商店街 にぎわい創 出事業	10,512千円 (5,258千円)	2人	① 178千円 ② H25年4月 ~H26年3月 ③ 特になし	商店街の複合商業施設にコミュニティFM 放送局と連携して全国及び県内の特産品(主 に食)を扱う店舗を設け、顧客の誘導を図る ことで商店街への人の流れをつくり、中心市 街地の賑わいを創出するとともに、県外のコ ミュニティFMとの連携により、県外への県産 品のPR、販売に資する。
庁舎活用に よる障がい 者支援事業	2,912千円 (1,460千円)	1人	① 105千円 ② H25年4月 ~H26年3月 ③ 特になし	食堂事業及び障がい者による生産品の受託 販売を行うNPO法人に対して、広く障がい 者の生産品の販売及びPR等の業務を委託 し、障がい者支援及び障がい者の理解の促進 を行うものとする。
合計	13,424千円 (6,718千円)	3人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

# イオン茨木ショッピングセンター鳥取フェアの開催について

平成25年6月25日  
市場開拓課

イオンリテール(株)との包括業務協定にもとづくタイアップ企画の第3弾として、大阪のショッピングセンターで鳥取フェアを開催します。

フェアでは、本県を代表するこの時期の旬の特産品、「鳥取すいか」と「境港産本マグロ」を中心に各種加工品、名産品を販売します。

併せて、全国都市緑化フェアやまんが王国とっとりなど観光PRを行い、鳥取自動車道が開通して近くなった鳥取県の魅力を関西圏の方々に情報発信することにより、本県への観光誘客を図ります。

- 1 テーマ より近くにさらに素敵に！「食」と「観光」の魅力満載！鳥取フェア
- 2 期間 平成25年6月28日(金)～30日(日)3日間 9時～19時(最終日は18時まで)
- 3 会場 イオン茨木ショッピングセンター(1階食品売場、ジョイプラザ)  
大阪府茨木市松ケ本町8-30
- 4 主催者 鳥取県・(一社)鳥取県物産協会・イオンリテール(株)西近畿カンパニー
- 5 イベント(主なもの)
  - (1) トップセールス<ジョイプラザ>(6/29(土)18:00～18:30)
    - ① 出演者：平井知事、イオンリテール(株)堀江常務執行役員、JA鳥取中央福山組合長、境港天然本マグロPR推進協議会大谷会長、松本若菜さん
    - ② 概要：・平井知事による鳥取県の特産品や観光地など鳥取県の魅力のPR及び鳥取フェアのPR  
・福山組合長、大谷会長によるすいかやマグロのPR など
  - (2) 旬の特産品PR<食品売場>
    - ① マグロ解体ショー、試食・販売(境港天然本マグロPR推進協議会)(6/29・30)
    - ② すいかの試食・販売(JA鳥取中央)(6/29・30)
  - (3) ステージイベント<ジョイプラザ>
    - ① とっとりふるさと大使によるタレントショー  
・松本若菜さんトークショー(6/29)  
・サオリリスさんトークショー(6/30)
    - ② 全国都市緑化とっとりフェア、グリーンウェーブのPR  
・オアシスえんじえるによるクイズ大会
    - ③ まんが王国のPR  
・鳥取県と高知県の「まんが王国」連携PR
    - ④ とうふるーと演奏
    - ⑤ 着ぐるみによるPR  
・鬼太郎、コナンの着ぐるみによるPR及び写真撮影会  
・トリピー、リトットによるPR及びじゃんけん大会
    - ⑥ 鬼太郎・コナングッズの販売
  - (4) 展示コーナー
    - ① 県の観光、特産品のパンフレット、ポスター等の展示
    - ② 全国都市緑化とっとりフェア、まんが王国、ジオパーク関連のパネル展示
    - ③ 高知県と連携したまんが王国のパネル展示

## 6 物産販売

### (1) 生鮮品

①鮮魚：本マグロ、紅ズワイガニ、白イカ、アジ、タイ等

②青果物：すいか、メロン、デラウエア、白ねぎ、長いも等

### (2) 加工品：(約100商品予定 現在商談中)

①催事場：山本おたふく堂(ふるしきまんじゅう)、清月(カステラ、和菓子)、ちむら(ちくわ、かまぼこ)、テラファーマー(梨ジュース、キーマカレー)、コナン・クリエイション(コナングッズ)、妖怪舎(鬼太郎グッズ)

②元売場：因幡の白ウサギ(寿製菓)、稲田姫純米吟醸・二十世紀梨のお酒(稲田本店)、純米吟醸「満天星」(諏訪泉)、カントリーロースト(大山ハム)、白バラコーヒー(大山乳業)など

### (3) その他

鳥取フェアと連動して、フェア期間中、下記品目についてはイオンリテール西近畿(大阪府、兵庫県)エリア56店舗で取扱を行う。

①鮮魚：するめいかの刺身、あじ姿造りの刺身、はたはた一夜干し

②青果物：すいか

③加工品：大風呂敷・焼きかにせんべい(宝販売)、鬼太郎の好きなビーフカレー(東伯ミート)、梨は炭酸(サンパック) など

## <鳥取県とイオンとの包括業務提携>

1 締結日 平成23年1月31日

- 2 連携事項
- (1) 地産地消の推進及び県産品の販路拡大に関すること。
  - (2) ICカード等の活用に関すること。
  - (3) 環境施策の推進に関すること。
  - (4) 高齢者及び障がい者の支援に関すること。
  - (5) 子育て支援及び青少年の健全育成に関すること。
  - (6) 教育の推進に関すること。
  - (7) 健康増進及び食育に関すること。
  - (8) 観光情報・振興に関すること。
  - (9) 災害対策、防災及び防犯に関すること。
  - (10) その他地域社会の活性化及び県民サービスの向上に関すること。

## <イオンと連携したフェア開催実績について>

1 平成23年度

- (1) 開催場所 イオンモール京都ハナ店(京都市右京区)
- (2) 開催期間 平成23年6月24日(金)～26日(日)
- (3) 概要
  - ・知事トップセールス
  - ・鳥取スイカの試食
  - ・生鮮品及び加工品の展示販売 等

2 平成24年度

- (1) 開催場所 イオンレイクタウン(埼玉県川越市)
- (2) 開催期間 平成24年6月15日(金)～17日(日)
- (3) 概要
  - ・知事トップセールス
  - ・鳥取スイカの試食、マグロの解体ショー
  - ・トリンドル玲奈さん、松本若菜さんによる鳥取県のPR
  - ・マンガオブジェの展示
  - ・生鮮品及び加工品の展示販売 等



宿泊業・飲食業

生産性向上によるおもてなし経営の実現  
～顧客満足と業務効率化の二兎を追う～

参加費無料

# サービスイノベーションセミナー & 第1回テーマ別分科会

参加者募集

お申込締切日：6月26日(水)

## 7月3日(水) サービスイノベーションセミナー

日時：平成25年7月3日(水) 13:00～17:30 (受付 12:00～)  
会場：鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム3 (住所：倉吉市駄経寺町212-5 (倉吉パークスクエア内))  
定員：180名  
対象：宿泊業、飲食業の経営者又は現場責任者  
内容：事例発表及び総括も含めた講演を行います。

- ・13:05～ 来賓挨拶(経済産業省中国経済産業局)  
◆事例発表
- ・13:20～ 加賀屋(石川県七尾市和倉温泉) シニアマネージャー 楠 峰子 氏  
「笑顔で気働き」
- ・14:20～ がんこフードサービス(大阪府大阪市) 専務取締役 新村 猛 氏  
「外食産業におけるサービス生産性向上 ～付加価値向上と効率化との両立～」
- ・15:20～ こうほうえん(鳥取県境港市) 理事長 廣江 研 氏  
「変わる勇気、変える勇気 ～介護業界の常識を超える!～」
- ◆総括講演
- ・16:30～ サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤 耕 氏  
「お客様満足を上げる生産性革新」



## 7月4日(木) 第1回テーマ別分科会 テーマ：バックヤードの業務効率と品質の維持・向上

日時：平成25年7月4日(木) 10:00～12:30 (受付 9:30～)  
会場：鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム3  
(住所：倉吉市駄経寺町212-5 (倉吉パークスクエア内))  
定員：30名  
対象：宿泊業、飲食業の経営者又は現場責任者  
内容：講師による事例発表の後に、自社の取り組み等について講師との意見交換を行っていただきます。

- ・10:00～ 向瀧(福島県会津若松市東山温泉) 代表取締役 平田 裕一 氏  
「小さな温泉旅館のいのべーしょん ～非効率的サービスのための効率経営～」
- ・11:00～ 講師との意見交換会  
ファシリテーター：サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤 耕 氏

## 今後の開催予定 (詳細は後日改めてご案内します)

- 第2回テーマ別分科会「労働力の最適化と機会損失への対応」  
講師：一の湯(神奈川県箱根町塔之沢温泉) 代表取締役 小川 晴也 氏  
ファシリテーター：サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤 耕 氏  
開催月：9月予定 会場：鳥取市内 定員：30名
- 第3回テーマ別分科会「顧客満足による営業展開」  
講師：湯主一條(宮城県白石市鎌先温泉) 代表 一條 達也 氏  
ファシリテーター：サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤 耕 氏  
開催月：11月予定 会場：米子市内 定員：30名



・内容は予告なく変更になる事がございます。予めご了承ください。  
・両日ともマスコミに公開します。

主催：鳥取県  
後援：中国経済産業局

※写真はイメージです

## 講師のご案内

**一般社団法人サービス産業革新推進機構 代表理事 内藤 耕 氏** (セミナー講師・第1回～第3回テーマ別分科会ファシリテーター)  
工学博士。金属鉱業事業団、世界銀行グループ、独立行政法人産業技術総合研究所サービス工学研究センター副センター長などを経て、現職。  
サービス工学研究の第一人者で、200社近いハイ・サービス事業者を訪問し、顧客、従業員、社会、地域全体にとって、より良いサービスを、より効果的に提供するための方法論の確立を目指して、研究活動に取り組んでおり、時にはバックヤードに潜入して、最強のサービスを生み出す仕組みを工学的アプローチで解き明かしてきた。著書に、『サービス産業生産性向上入門』(日刊工業新聞社)、『最強のサービス』の教科書』(講談社現代新書)など。

**株式会社加賀屋 シニアマネージャー 楠 峰子 氏** (セミナー講師)  
1975年加賀屋入社。旅行会社添乗員の経験を生かし、加賀屋の予約センター、客室センターを担当後、1996年「あえの風」開業準備室に入り、21世紀に通じる旅館づくりをコンセプトに129室の旅館の立ち上げに携わる。その後、2002年に加賀屋グループ初の女性支配人(あえの風)を歴任する。現在は、年間30,000枚以上のアンケートから毎月アンケート対策会議を行い、対策を練っている。  
加賀屋は、高品質なおもてなしサービスを提供する老舗温泉旅館として有名であり、1981年から33年連続して「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」の総合部門第1位に表彰されている。

**がんこフードサービス株式会社 専務取締役 新村 猛 氏** (セミナー講師)  
アルバイトとしてがんこフードサービスに入社し、営業、人事、経営企画を経て現職。独立行政法人産業技術総合研究所研究顧問を兼ねる。筑波大学大学院博士後期課程システム情報学研究科修了。工学博士。  
寿司、懐石、和食などの伝統的日本料理店を運営している同社は、科学的・工学的アプローチによる効率化と、食文化を基盤にした付加価値向上の両立を目指している。

**社会福祉法人こうほうえん 理事長 廣江 研 氏** (セミナー講師)  
1941年2月鳥取県米子市生まれ。病院経営に20年間携わった後、1986年に鳥取県境港市に社会福祉法人養寿会(現こうほうえん)を設立。  
社会福祉法人こうほうえんは、「わたくしたちは、地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される、『こうほうえん』を目指します」という理念のもと、鳥取県と東京都で総合福祉サービスを提供している。中でも、主力事業である介護現場において、経験の差が出やすい「気づき」に注目。システム化による科学的手法により、職員ごとに利用者別の気づき量を分析し、その結果を基に職員同士で改善策の検討や共有を図ったり、研究発表会を行ったりと、職員による研究活動を積極的に行っている。2013年3月に、付加価値の高いサービスを提供している企業を表彰する「おもてなし経営企業選(経済産業省主催)」に、社会福祉法人の中で、全国で唯一選定された。

**株式会社向瀧 代表取締役 平田 裕一 氏** (第1回テーマ別分科会講師)  
1983年大手旅行会社に勤務。1991年株式会社向瀧に入社し、2002年代表取締役就任。  
会津 東山温泉にある「向瀧」は、江戸中期に始まる老舗温泉旅館である。旅館としては、全国第一号の登録有形文化財に指定されているが、古さを武器にするだけでなく、会津の伝統的な郷土料理を提供し、建物も、料理も、接客も向上させていくために、日々、従業員たちがサービスを磨き続けている。また、日本のインターネットの普及に伴い、いち早くオリジナルのホームページを作成し、旅行代理店経由の予約をやめて直接集客にシフトさせるなど、IT活用や経営革新に積極的に取り組み、数々の賞を受賞している。「変えてはならないことは変えず、変えなければいけないことは変える」と、「変わらない向瀧の魅力のために、今日は何を変えようか」を徹底している。

## 会場のご案内

両日とも 鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム3 (住所: 倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内))



**参加申込書 (このままファクシミリでお申込ください。)**

事業所名: \_\_\_\_\_ 住所: \_\_\_\_\_

担当者名: \_\_\_\_\_ 担当者の連絡先(電話番号): \_\_\_\_\_ 業種・事業内容: \_\_\_\_\_ 従業員数: \_\_\_\_\_ 人

区分	参加者氏名	部署名	役職名
7月3日(水) 13:00~17:30			

# 「鳥取県技術人材バンク」のご案内

技術的職業への就職を希望する皆様を支援します!



鳥取県マスコットキャラクター「トビ」

鳥取県技術人材バンクとは…

技術的職業への就職を希望する方と技術系人材を求める鳥取県内企業とのマッチング支援を専任のコーディネーターが行う鳥取県が運用する就職支援システムです。

## 鳥取県技術人材バンクの特徴

### Point1 技術系人材の求人情報を集約

ハローワーク等関係機関と連携して収集した求人情報に加え県独自に収集した求人情報を集約。

### Point2 専任のコーディネーターがご支援

皆様の技術能力評価を行える専任のコーディネーターが就職をご支援。

### Point3 技術能力を生かせる最適な求人をご紹介

技術能力評価を踏まえ、お持ちの技術能力を生かせる最適な求人をお探し、ご紹介。

## 対象者

■鳥取県内企業の次の職業への就職を希望される方です。

機械技術者、電気技術者、電子技術者、化学技術者、情報処理技術者、

生産管理技術者、研究開発技術者、前記以外の技術的職業(技能的職業を含む)

※詳細は、裏面をご覧くださいか、お問い合わせください。

## ご利用いただくには

■次の方法により求職登録をしてください。

- ①求職登録票を県ホームページからダウンロード又は裏面記載のお取扱い場所から入手して、必要事項をご記載ください。

【県ホームページ】 <http://www.pref.tottori.lg.jp/jinzaibank>

- ②①により作成した求職登録票を下記の登録申込み先へ郵送、メール、ファクシミリ等でご提出ください。後日、コーディネーターから、ご連絡いたします。

## 技術人材バンクの流れ



### 【登録申込み・お問い合わせ先】

鳥取県技術人材バンク(鳥取県庁雇用人材総室内)担当:山本、井口  
〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220 番地

TEL:0857-26-7233 ファクシミリ:0857-26-8169

E-mail:koyoujinzai@pref.tottori.jp

ご利用時間 8:30~17:15(平日のみ)

OH25. 7月 大阪と東京に窓口を開設予定

「鳥取県技術人材バンク大阪オフィス」  
(グランフロント大阪ナレッジキャピタル内)

「鳥取県技術人材バンク東京オフィス」  
(鳥取県東京ビジネスオフィス内)



## 鳥取県技術人材バンクの対象となる職業

区分	職種
1 機械技術者	機械、器具、装置、プラント、原動機、工作機的设计・製作などの機械設計製作技術職
2 電気技術者	電気機器、弱電、強電、電気装置の設計・製作などの電気設計製作技術職
3 電子技術者	電子回路、半導体の設計・製作などの電子回路設計製作技術職
4 化学技術者	工業用化学薬品、医療品、化学繊維、有機、合成樹脂、油脂などの製造に関する分析・検査、食品の原料・製造工程の分析など
5 情報処理技術者	プログラマー、SE
6 生産管理技術者	生産・製造・工程・品質管理・生産計画・品質管理計画の策定、能率管理など
7 研究開発技術者	研究所、試験所などにおける科学・原材料等の専門的な試験、研究業務など
8 その他	1～7以外の技術的職業(技能的職業を含む)

## 求職登録票のお取扱い・受付場所

### 【お取扱い場所】

ハローワーク鳥取・倉吉・米子、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構、公益財団法人産業雇用安定センター鳥取事務所、とっとり・くらよし・よなご若者仕事ふらざ、ミドル・シニア仕事ふらざ鳥取・倉吉・米子、鳥取県中部総合事務所地域振興局、鳥取県西部総合事務所地域振興局、鳥取県庁雇用人材総室 他

### 【受付場所】

名称	住所	電話番号
鳥取県商工労働部 雇用人材総室	鳥取市東町一丁目220番地 本庁舎7階	0857-26-7233
鳥取県中部総合事務所 地域振興局「中部振興課」	倉吉市東巖城町2	0858-23-3985
鳥取県西部総合事務所 地域振興局「商工労働課」	米子市靴町一丁目160	0859-31-9637